第2期観音寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について (令和5年度実績)

1 調査方法

基本目標の「数値目標」、及び各具体的な施策の「重要業績評価指標（KPI）」の前年度実績を確認するとともに、KPIの進捗状況について、次の凡例により段階的に評価した。

【凡例】各年度の進捗状況

「重要業績評価指標（KPI）」について、目標値に対する進捗度評価を行った。実績値/目標値による達成度に応じて、主にA～Eの5段階で評価している。

- 「A」：(100%以上) 目標以上に進捗しており、継続して事業を実施する。
 - 「B」：(80%以上～100%未満) 目標に向け進捗しており、継続して事業を実施する。
 - 「C」：(50%以上～80%未満) 目標に向け概ね進捗しており、継続して事業を実施する。
 - 「D」：(25%以上～50%未満) 目標を下回っており、要因の分析をして事業を実施する。
 - 「E」：(25%未満) 目標を大きく下回っており、内容によっては目標値または事業見直しを要する。
 - 「-」：当該年度調査なし、統計調査未実施等により達成率の算出ができないもの。
- ※減少を目指す指標は目標値/実績値により算出。

2 調査結果

「基本目標」における「数値目標」の進捗状況

「重要業績評価指標（KPI）」の進捗状況及び評価

基本目標 1 活力と魅力あるしごとづくり				
数値目標		基準値 (平成 27 年)	目標値 (令和 6 年)	
従業者数 (非正規、外国人も含む)		29,406 人	29,500 人	
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
27,327 人 (※)	—	—	—	—

※ 国勢調査の結果による

(1) 産業の成長を支える人材の育成・確保 (意欲的な担い手や後継者の育成・確保)					
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価	
合同企業説明会における 就業者数 (採用)		4 人	10 人	E	
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
1 人	—	7 人	3 人		
<p>【関連施策の実施状況】 令和 5 年 3 月開催 (2024 年 3 月大学等卒業予定者などを対象) の合同就職説明会は、参加を希望する企業が多かったことから、参加企業数の上限を引き上げて開催した。参加企業数は増えたものの、来場者は 72 名であり、その後採用に至った人数は 3 名であった。また、参加企業数の上限を引き上げたが、それ以上に参加を希望する企業が多く、出展できない企業が存在したうえ、各企業ブースが狭くなり、企業説明のための十分なスペースを確保できなかった。</p>					
<p>【今後の取組について】 令和 6 年 3 月に開催した説明会では、午前と午後の 2 部制で開催し、希望する企業すべてが参加できた。また、来場者数は午前の部 73 名、午後の部 72 名の延べ 145 名であった。開催方式を 2 部制としたことで、各ブーススペースも確保することができた。周知方法については WEB 広告や周知用動画等、新たな広報活動を行ったことで来場者数の増加に繋がったため、引き続き、WEB 広告等を活用しながら開催周知に努め、来場者数の増加を図る。</p>					
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価	
認定新規就農者数 (累計)		28 人	35 人	A	
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
39 人	45 人	50 人	57 人		

【関連施策の実施状況】
 認定新規就農者の農業用機械（トラクター等）の整備に対する助成を要望のあった8人に行い、初期負担の軽減や経営発展・定着を図るとともに、就農希望者を受け入れる里親育成事業により、先進農家（研修生1人）の支援も行った。また、次世代を担う意欲ある認定新規就農者が自らの経営を確立する期間の資金（農業次世代人材投資資金・経営開始資金）として、要件を満たす延べ15人に対し、補助金を交付した。認定新規就農者の令和5年度中の新規認定は7人であった。

【今後の取組みについて】
 認定新規就農者については、令和5年度中に認定期間を満了等の8人のうち、2人が認定農業者となり、地域農業の中心的な経営者として規模拡大等に努めてくれているが、本格的な高齢化社会の到来で、今後ますます担い手の不足・耕作放棄地の増加が予測され、認定新規就農者の発掘・育成は喫緊の課題となっている。
 担い手の確保・育成のため、移住希望者の就農相談も行っているが、抜本的な対策はない状況である。魅力的で儲かる農業の仕組みづくりのため、引き続き各種政策を推進するとともに、農業分野を超えた連携を進めることが重要である。

重要業績評価指標（KPI）		基準値 （平成30年度）	目標値 （令和6年度）	KPIの進捗評価
森林整備面積（累計）		0ha	1.5ha	E
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
0ha	0ha	0ha	0ha	

【関連施策の実施状況】
 令和2年度から森林組合と連携し、大野原町有木地区の1林班を対象地に選定した。林班内の大規模な私有林・人工林所有者を訪問するとともに、郵送による意向調査を実施し、現在、森林経営計画を策定中である。令和5年度に完了予定であった、里山環境整備事業（約0.9ha、高屋地区）については、伐採を完了しているが、造林の適した時期に行う必要があるため、令和6年度に造林事業を実施する予定である。

【今後の取組について】
 森林経営管理法が施行され、近隣市町も含め、森林整備が推進されることで、林業就業者の絶対数は増加に転じる可能性を秘めているが、一朝一夕には困難である。確実に事業実績を積み上げていく中から将来像を展望したい。

(2) 起業創業支援や企業誘致の推進

重要業績評価指標（KPI）		基準値 （平成30年度）	目標値 （令和6年度）	KPIの進捗評価
中小企業経営改善資金利子補給 実施件数と金額		132件 2,657,130円	150件 3,000,000円	D
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
121件 2,159,763円	90件 1,239,561円	72件 953,541円	67件 966,513円	

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価
企業等誘致数 (累計)		0 件	5 件	A
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
0 件	2 件	3 件	5 件	
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価
サテライトオフィス誘致事業所数 (累計)		0 件	1 件	E
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
0 件	0 件	0 件	0 件	
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価
創業者セミナーの参加者数		10 人	15 人	A
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
9 人	11 人	23 人	65 人	
【関連施策の実施状況】				
<p>利子補給については、令和 5 年度に新たに当該利子補給対象融資を実施したのは 13 件であり、令和 4 年度に比べ増加したものの、全体としては減少した。</p> <p>企業誘致については、宿泊施設運営事業者 1 件、医薬品卸売事業者 1 件、計 2 件の市外事業者の立地があった。</p> <p>創業を検討する人などを対象とした創業セミナーについては、令和 5 年度は受講者数が多かったことから、令和 5 年 8 月と令和 6 年 1 月の年 2 回開催した。市広報紙に創業者特集を掲載したことに加え、SNS 広告を行うなど、開催周知を強化することにより、第 1 回目 36 名、第 2 回目 29 名、計 65 名の参加があった。</p>				
【今後の取組について】				
<p>令和 3 年度から新規の申請件数が徐々に増加しているが、引き続きコロナ関連融資を利用する事業者や同融資への借換えを行う事業者が多く、全体としては減少傾向にあるため、関係機関と連携し、制度の周知を図る。</p> <p>企業誘致に関しては、急速に在宅勤務やリモートワークができる環境が整ったことにより、オフィスを構えるニーズが減少している印象である。また、企業が立地を検討するうえで、重視する項目の一つとして、地域における人材・労働力の確保が挙げられる。このことを踏まえ、引き続き、香川県とも連携しながら誘致活動を行うとともに、人材確保については、就職説明会等による支援を実施し、ハローワーク観音寺との連携強化に努める。</p> <p>市内での創業については、引き続き、市広報紙で創業者特集を行うなど、セミナー開催に係る周知を徹底し、参加者数の維持に努める。</p>				

(3) 地域産業の競争力強化					
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価	
製造品出荷額等		42,348 百万円	43,000 百万円	C	
令和 2 年度公表 (平成 30 年分)	令和 3 年度公表 (令和元年分)	令和 4 年度公表 (令和 2 年分)	令和 5 年度公表 (令和 3 年分)	令和 6 年度公表 (令和 4 年分)	
41,508 百万円	42,214 百万円	37,650 百万円	31,508 百万円		
<p>【関連施策の実施状況】</p> <p>企業版ふるさと納税による寄附金を活用して、地元信用金庫やまちおこし団体と連携した、地域産品のプロモーション活動を行っており、物産展開催のほか市内事業者や観音寺物産の PR 冊子作成などの支援を実施した。令和 5 年度は 11 月 19 日にハイスタッフホールで物産展を開催し、物産展会場のほか、大型バス乗車体験やミニ S L 乗車コーナーなど、家族連れや若年層が来場するきっかけ作りに取り組み、地域食材を PR する機会を広げた。</p> <p>また、観音寺市の豊かな地域資源から生み出された農林水産物及びその加工品をブランド商品に認証して情報発信を行っており、広告広報活動、補助制度を通じた認証事業者への活動支援を行った。市役所 1 F モニターに常時、観音寺ブランド認証品の PR 映像を流すようにしたほか、「国道 11 号豊中観音寺拡幅開通を祝う会」会場に認証品を展示しての PR や、認証事業者と共に「さぬきマルシェ in サンポート」、「かんおんじフェア in 有楽町」、「第 2 回 ONSEN・ガストロノミーウォーキング in 観音寺市」、「第 9 回銭形いろどり市」に参加し、認証品のプロモーション活動を行った。認証品の新規募集により 2 品を新たに認証品に追加するとともに、13 品の継続審査を行い、13 品を再認定した。</p>					
<p>【今後の取組について】</p> <p>企業版ふるさと納税による寄附金を活用した地域産品振興事業としては令和 5 年度で終了となったため、令和 6 年度以降はまちおこし団体の会費等を活用して、事業の継続実施を目指す必要があるが、今年度も 11 月 24 日に物産展を開催したほか、PR 冊子作成やホームページの充実、SNS の活用などを予定している。また、近隣の自治体や他の地元信用金庫との連携・交流する取り組みについても検討する予定である。</p> <p>観音寺ブランド認証の取り組みについては、全国に同様の制度があり、差別化を図ることが難しい。「香川×岡山つながる食の大博覧会」に出展するなど、PR できる機会を見つけ、地道に PR 活動を継続し、スーパーマーケットトレードショーへの出展を再開する。また、制度の見直しを行い、より付加価値の高い認証制度を検討する。</p>					

基本目標 2 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり				
数値目標		基準値 (平成 28 年 9 月実施市民アンケート)	目標値 (令和 3 年度実施予定アンケート)	
観音寺市に対する愛着度 (一般)		愛着を感じている 46.5% 愛着をやや感じている 30.5% 計 77%	計 85%	
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
—	67.9%	—	—	—
数値目標		基準値 (平成 31 年 3 月実施子育てアンケート)	目標値 (令和 6 年度実施予定アンケート)	
子育てしやすいまちだと思う人の割合		42.7%	60.0%	
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
—	—	—	—	実施予定

(1) 子どもの成長を支える				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 28 年度)	目標値 (令和 3 年度)	KPI の進捗評価
観音寺市に対する愛着度 (高校生)		とても好きだ 20.3% どちらかという好きだ 48.2% 計 68.5%	とても好きだ どちらかという好きだ 計 75.0%	—
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
—	59.4%	—	—	—
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (令和 2 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価
地域や学校の活動に学校運営協議会の委員が参加(協働)した回数が、年間 2 回以上の市内小中学校の割合		13% (2/15 校)	100% (15/15 校)	A
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
13% (2/15 校)	80% (12/15 校)	100% (15/15 校)	100% (15/15 校)	
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成元年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価
市内小学校の地域学校協働本部設置率		0% (0/10 校)	100% (10/10 校)	C

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
20% (2/10校)	20% (2/10校)	60% (6/10校)	70% (7/10校)	

【関連施策の実施状況】

子どもの成長を支える取り組みとして、伊吹島での交流や体験学習を通して島の歴史や産業、生活の様子を直接学習するとともに、観音寺市の自然の素晴らしさを体験することを目的として、市内の各小学校の児童を対象に洋上学習を実施した。

また、異年齢集団での活動を通して自主性・協調性を養うとともに、ふるさとへの関心や愛着心が深まることを目的として、ふるさと学習、環境学習、キャンプなどの体験活動を実施した。自然や文化、歴史等、様々な活動を取り入れる事により子ども達に貴重な体験の場を提供するとともに、指導者や体験場所については、地域の方々の参画・協力を得ることで地域とのつながりを深めることができた。

さらに、小・中学校において、ICT環境を整備するとともに、情報教育の充実と校務の効率化を目指し、教育のデジタル化を推進している。令和5年度は学校教育情報システムのサーバー及び校務用端末等機器のリプレースを行った。新規サーバーは、セキュリティも考慮し、ファイルの無害化機能を加え、学校外部からの情報を安全に取り込むことができるようになった。教室では学習支援ソフトと1人1台端末を活用し、協働学習や個々の理解度に合わせた学習が進められ、児童・生徒の情報活用能力が向上した。また、小学校では、4年生以上の学年全員を対象として、学年に応じたプログラミング体験をさせることもでき、中学校では、遠隔教育を充実させる機器を活用し、保健室登校の生徒と教室を結ぶオンライン学習も実施することができた。

【今後の取組について】

洋上学習については、参加する児童が等しく学ぶことができるように、関係機関との連絡調整や説明の工夫等に努める。また、様々な体験活動の実施については、多種多様なプログラムを計画する中で、指導者を探し出すのが最大の課題である。活動の募集は学校を通して行うため、学校の協力が得られるような体制を維持するとともに、より多くの子どもたちに参加してもらえるよう活動内容の充実を図る。

小・中学校におけるICT活用に関しては、学校への支援を強化し、学校間の情報交換、研修等を進め、教職員のICT活用指導力及び児童・生徒の情報活用能力を高める。また、統合型校務支援システム、出欠連絡システムを導入予定であり、これらの整備によって校務DXを推進することで、児童・生徒と向き合う時間を創出する。

(2) 子育て支援・共同子育て推進				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成20～平成24)	目標値 (平成30～令和4)	KPIの進捗評価
合計特殊出生率		1.53	1.67	—
令和2年度 (平成25～平成29)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (公表予定)
1.69	—	—	—	
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成29年度)	目標値 (令和6年度)	KPIの進捗評価
出生者数		436人	406人	C

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
334人	372人	343人	315人	
<p>【関連施策の実施状況】</p> <p>子育て支援については、生後4か月までの乳児がいる全ての家庭を訪問（健康増進課の保健師による新生児訪問機会の活用と香川県助産師会への委託）し、親子の心身の状況や養育環境等の把握と助言を行い、支援が必要な家庭に対する適切なサービスの提供につなげた。令和5年度実績は、訪問件数273件（うち助産師会の訪問55件）であった。</p> <p>子育て支援センター「ほっとはうす萩」では、子育て親子の交流や、子育てに関する相談・育児の情報提供などを行い、子育てを応援している。令和5年度は、5月に新型コロナが5類に移行したこともあり、引き続き、感染対策を行いながら事業を実施した結果、入館者数は27,963人まで回復した。民間事業者が事業を行っている拠点施設については、令和5年度は12,918人が利用し、令和4年度の11,800人から1,118人増加した。</p> <p>放課後児童クラブでは、放課後に保護者が留守となる児童に対して適切な遊びや生活の場を与えることで、児童の健全な育成を図っている。伊吹小学校区を除く9校区において、公設は12教室、民設4教室で実施している。支援員の資質向上のための研修実施や、平成30年度から放課後児童クラブを巡回する専門指導員を配置したことにより、支援員の指導や複雑化する児童との関わり方を指導する体制をとっている。</p> <p>【今後の取組について】</p> <p>乳児がいる家庭への訪問は、核家族化、少子化の進行が続く中、子育ての孤立化を防ぎ、適切な支援につなげるため必要な事業である。多様化する子育て環境の中、訪問する職員のスキルアップに取り組む。また、こども家庭センターの設置についても、開設に向け検討していく。</p> <p>ほっとはうす萩については、引き続き魅力あるイベント等を行いながら、子育てで孤立することがないように、気軽に親子等が立ち寄れる居場所作りとして、リピーターの増加や新たな利用者の発掘に努めるとともに、同所における利用者支援事業（ほっと♡相談）との相乗効果につなげる。利用者の声に基づき、集客数の向上に努め、子育て支援拠点としての機能強化を図る。民間の子育て支援センターについても、同様にリピーターを増加するとともに、初めて参加した親子も孤立することがないように、センターの雰囲気づくりを心がけ、利用促進を図る。また、引き続き幅広い情報発信や保護者への案内を行うとともに、地域全体の子育て意識の向上にも努める。</p> <p>放課後児童クラブは、児童数の減少に反し、利用希望が年々増加傾向にある。令和6年度は定員を20人増やしたものの、待機児童は発生しており、引き続き、処遇改善等により支援員と実施場所の確保に努め、待機児童の解消につなげたい。また、子育て支援員等、関係機関と連携を強化しつつ、各種研修等を活用した支援員の資質とスキル向上に取り組む。</p>				

(3) 誰もが活躍できるまち				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成30年度)	目標値 (令和6年度)	KPIの進捗評価
外国人の人口		653人	1,800人	C
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1,063人	924人	1,117人	1,336人	

<p>【関連施策の実施状況】</p> <p>誰もが活躍できるまちづくりにおいて、超高齢化社会の到来に備えるべく、高齢者が自ら介護予防に取り組むとともに、運動や社会交流等を目的とした身近な通いの場やスポーツ、レクリエーションなどの活動の場を確保し、高齢者の生きがいを推進した。運動の普及啓発を目的とした健康運動指導士による介護予防教室（観トレ）は3会場で実施し、1人月1回、延べ2,945名の参加があった。地域で活動する運動ボランティアの活動支援を目的に年3回観トレマスターフォローアップ講座を実施し、19名のマスターが活動中である。さらに、歩いて通える身近な場所で、地域が自主的に介護予防に取り組むための「銭形貯筋体操」の立ち上げ支援や運営支援を実施し、令和5年度末で市内18か所で立ち上がっている。</p>
<p>【今後の取組について】</p> <p>交通手段に問題を感じている高齢者が多い中、歩いて通うことができる身近な場の普及が大切になっているが、地域でリーダーとして活躍してくれるボランティアの高齢化や人材不足が顕著であり、通いの場の更なる普及及び持続可能な仕組みづくりが課題である。引き続き、高齢者が自ら介護予防に取り組めるよう、通いの場の活動支援やスポーツ・趣味活動などの場を確保することで、高齢者の生きがいを推進する。また、元気な高齢者がボランティアとして活動できる場を確保し、地域で活躍できる仕組みづくりを進める。</p>

(4) 女性が働きやすい職場環境の整備				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (令和元年度)	目標値 (令和6年度)	KPIの進捗評価
かがわ女性キラサポ宣言に登録している市内事業所数 (累計)		21 事業所	30 事業所	A
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
25 事業所	28 事業所	32 事業所	40 事業所	
<p>【関連施策の実施状況】</p> <p>第2次観音寺市男女共同参画計画に基づき、互いの人権を尊重しつつ男女がともに活躍するまちづくりをめざし、庁舎等における啓発ポスターやパンフレットの配置を行った。11月には「女性に対する暴力をなくす運動」(12日～25日)期間として、市内図書館に「パープルリボン」(女性に対する暴力根絶のシンボルマーク)などを飾り付けたシンボルツリーを設置するなど、意識啓発を行った。</p> <p>また、「第2次観音寺市男女共同参画計画」の見直しを実施し、後期計画(令和6年度～令和10年度)の策定を行った。</p>				
<p>【今後の取組について】</p> <p>引き続き、情報発信の充実を図るとともに、啓発ポスターやパンフレットを多くの人に閲覧してもらうための環境整備に努める。</p>				

(5) 結婚を希望する男女を応援する環境づくりの推進				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成30年度)	目標値 (令和6年度)	KPIの進捗評価
婚姻届受理件数		250 件	250 件	C

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
219件	189件	185件	165件	
<p>【関連施策の実施状況】 結婚を希望する独身者に向けた新たな出会いを後押しするため、縁結び支援センター登録補助金として縁結びマッチング会員の入会登録料1万円の2分の1を市が負担している。令和5年度の利用者は17名であった。また、かがわ縁結び支援センターの職員を招いて地元団体に婚活イベントや縁結びマッチングの登録の説明等を行った。 婚活イベントに関する補助については、商工会等の実行委員会が開催する婚活イベント（クリスマス集い、はるこい）に助成を行った。</p>				
<p>【今後の取組について】 本市における縁結び支援センター応援団体の登録数及びマッチング会員登録数は令和4年度から減少しており、登録数の増加に努める必要がある。結婚支援については、地域の人々や事業所などのサポートも必要であり、かがわ縁結び支援センターと協力して、市内事業所等に応援団体（出会いの場所や機会の提供などを行う）への登録について周知していく。また、独身者に対しても、チラシや広報紙への掲載等により、縁結びマッチング会員入会登録への補助制度の周知に努め、利用者の増加につなげる。</p>				

基本目標 3 新たな交流を生むまちづくり				
数値目標		基準値 (平成 30 年)	目標値 (令和 6 年)	
観光入込客数		141 万人	150 万人	
令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
101 万人	93 万人	117 万人	144 万人	

(1) 観光・交流人口の拡大					
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年)	目標値 (令和 6 年)	KPI の進捗評価	
道の駅 (2 か所) の総売上額		119,840 千円	120,000 千円	A	
令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	
97,823 千円	84,176 千円	112,538 千円	121,914 千円		
<p>【関連施策の実施状況】</p> <p>本市の魅力を広く PR し観光客の増加を図るため、観光パンフレットや PR ポスターの増刷・改訂、観光 PR 看板の設置などを定期的に行っている。また、観光行政を推進するための中心母体である観光協会への支援を行っており、近年リニューアルした観光協会のホームページでは、「観光スポット」・「グルメ」・「遊び」・「宿泊」・「おみやげ」など、それぞれのスポットやイベント情報の発信を実施している。</p> <p>瀬戸内国際芸術祭については、2025 年の開催に向け、香川県・地元関係者等と諸調整を行った。また、開催年でない年に行っている「よるしるべ」に参画し、事業費の補助を行った。</p> <p>アニメコンテンツを活用した取り組みについては、本市を舞台とするアニメ関連のツイッターキャンペーンを行った。また、令和 6 年がアニメ放映 10 周年となることから、大規模イベント開催の準備を行った。</p>					
<p>【今後の取組について】</p> <p>引き続き、効果的な観光宣伝が行えるよう情報発信手法の検討を行うとともに、観光協会の法人格取得及び DMO 化に向けた支援を行う。</p> <p>瀬戸内国際芸術祭については、次回開催に向けた効果的な情報発信や、市内の混雑を防ぎ、来場者が安心して伊吹島へ向かえるような誘導、円滑な運営に努める。また、開催されない中 2 年間も「Art Setouchi」が開催されており、伊吹島においても屋外作品が数点展示されるなど、引き続き県や市の実行委員会と連携してアートを媒体とした継続的な観光誘客を行う。</p> <p>アニメコンテンツを活用した取り組みについては、令和 3 年に設立した官民共同の実行委員会を中心として、引き続き聖地巡礼によるコンテンツツーリズムの推進や他の観光資源とのマッチングを図るなど、新たなファンおよびリピーターの増加を図る。</p>					

(2) 関係人口の創出				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価
がんばれ観音寺応援隊の隊員数 (累計)		136 人	260 人	B
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
208 人	219 人	230 人	245 人	
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価
ふるさと納税の寄附金額		187, 192, 067 円	1, 000, 000, 000 円	A
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
839, 738, 032 円	1, 271, 306, 700 円	1, 591, 178, 958 円	2, 131, 618, 500 円	
<p>【関連施策の実施状況】</p> <p>シティプロモーション事業として、東京有楽町駅前広場で「かんおんじフェア」を実施した。市内事業者による特産品の販売や移住定住相談、観光情報紹介、ふるさと納税 PR を行った。また、各分野で活躍されているそれぞれの立場から本市の魅力の紹介や宣伝など、本市の知名度やイメージの向上につながる活動を行う「ふるさと応援大使」によるステージイベントも同時に行い、にぎわいのあるフェアが開催できた。</p> <p>ふるさと納税の推進については、返礼品やポータルサイトの追加、リピーターの獲得等により、寄附額が大幅に増加した。また、寄附金受領証明書の発送及びワンストップ特例申請の受付業務を外部委託することで事務の効率化を図るとともに、ワンストップ特例の電子申請を採用するなど利用者の利便性の向上に努めた。加えて、返礼品にお礼状やシティプロモーション冊子を同封することにより、本市の魅力を PR し関係人口の創出を図る。</p>				
<p>【今後の取組について】</p> <p>シティプロモーション事業では、令和 6 年度も引き続き東京有楽町駅前広場において「かんおんじフェア」を実施する予定であるが、効果的な PR を行い、本市の認知度が向上するよう、今後の開催候補地について調査検討する。(大阪万博の開催に合わせ、関西地区での開催も検討したい。)</p> <p>ふるさと納税については、令和 5 年 10 月の制度改正により厳格化されたふるさと納税の募集に要する経費を寄附金額の 5 割以内とする基準を遵守したうえで、拡充を図る必要があることから、募集に要する経費の圧縮策を考え、基準を遵守した制度運用に努める。また、ふるさと納税を活用したシティプロモーションを強化するため、オリジナルガムテープやフォトブック、ポストカードなどの PR グッズの作製を検討し、より多くの関係人口の創出につなげたい。</p>				

(3) 学校との連携				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価
市内幼小中学校、高等学校及び 大学等との連携事業数 (累計)		15 事業	18 事業	A

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
14事業	14事業	22事業	36事業	
<p>【関連施策の実施状況】 小・中学校では、地域の事業所等の見学等により地域の自然や産業、人々の営みに触れることで、教科等の枠にとられない総合的な学習活動を実施した。 大学との連携については、本市で不足している年齢層の大学生が、市内の地域資源を積極的に活用し、市の情報発信や交流の拡大を図る地域活性化事業に取り組んでいる。令和5年度も引き続き、香川大学の「瀬戸内地域活性化プロジェクト観音寺班」の活動を支援した。本市を舞台としたアニメの主人公らが勇者部（ボランティア部）として活動していることにちなみ、全国のファンと有明浜の清掃活動を行う「リアル勇者部活動」や、ふるさと学芸館（廃校を利用）における宿題教室、SNSでの情報発信等を行うなど、地域での交流拡大を図った。</p>				
<p>【今後の取組について】 小・中学校では、教科等の枠を超え、児童・生徒が自ら課題を見つけ、よりよく問題を解決する資質や能力などを育むため、各学校において創意を凝らし、地域や学校、児童・生徒の実態等に応じて、それぞれ特色のある教育活動を実践していく。 大学との連携については、その年に大学側で授業を履修した学生の人数によって、市内の活動内容にばらつきがあるが、多くの学生が市での活動に参加しており、継続的な活動が行えるようになった。地域の課題を市側から学生に提案するだけでなく、学生の視点で課題を発見し、継続的な活動につなげるとともに、学生から見た観音寺市の魅力を SNS 等で積極的に発信してもらうことで、本市の新たな魅力づくりを図る。</p>				

(4) 移住希望者に向けての情報発信及びフォロー				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成30年)	目標値 (令和6年)	KPIの進捗評価
転入者数		1,666人	1,750人	A
令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
1,516人	1,406人	1,764人	1,752人	
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成30年)	目標値 (令和6年)	KPIの進捗評価
転出者数		1,860人	1,750人	B
令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
1,682人	1,693人	1,971人	1,818人	

【関連施策の実施状況】

移住定住支援については、関連する補助制度及び子育て教育施設の情報等を掲載した定住支援パンフレット 2023 を作成し、窓口等での配布やホームページ掲載を行った。また、大阪・東京における香川県移住フェアに参加し、本市の相談ブースを訪れた来場者に本市の概要や移住支援制度の説明を行った。

空き家バンク制度においては、空き家と売買・賃貸希望者をマッチングし、市民の定住や空き家の活用・流動化を図り、成約 31 件中、県外の人による成約が 8 件であった。また、空き家バンクの利用を促進するために、空き家リフォーム補助金も実施し、リフォームや不要物撤去に一部補助を行う（リフォーム 11 件、不要物撤去 14 件）ことで、物件登録・成約の後押しや、空き家バンク HP を改修し、利便性の向上に努めた。さらに、物件の成約促進のために設けている「空き家バンク事業者登録」の制度についても、再度、不動産事業者に対して周知を行い、40 件の新規登録があった。

【今後の取組について】

本市を知ってもらいきっかけづくりのため、市 HP、移住・定住支援パンフレット及び SNS などで移住者向けの情報発信を行うとともに、移住サイト「観音寺市で暮らしませんか」における投稿内容やシティプロモーション活動の充実を図る。また、移住者向けの民間雑誌での無料掲載を活用するなど、県外在住者へ向けた情報発信に努める。さらに、ふるさと納税を活用したシティプロモーションを強化し、関係人口の創出にも努める。

空き家バンク制度については、市内不動産業者に制度を広く知ってもらい周知協力いただくとともに、空き家バンク事業者登録により情報提供可能な体制を構築することで、空き家の解消を進める。また、空き家の所有者や利用希望者に向けても、広報、市 HP、固定資産税納税通知書に同封するチラシなどで、空き家バンクやリフォーム補助制度の PR を継続し、新規物件登録数や成約件数の増加を図る。

基本目標 4 持続可能なまちづくり				
数値目標		基準値 (平成 28 年 9 月実施市民アンケート)	目標値 (令和 3 年度実施予定アンケート)	
観音寺市に対する定住意向 (アンケート)		住み続けたい 54%、どちらかといえば住み続けたい 23.8% 計 77.8%	計 85%	
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
—	74.6%	—	—	—
数値目標		基準値 (平成 30 年)	目標値 (令和 6 年)	
住宅の新築戸数		249 戸	250 戸	
令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
216 戸	208 戸	230 戸	177 戸	

(1) 周辺市町との連携				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価
新規広域連携事業数 (累計)		—	3 事業	A
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
1 事業	3 事業	3 事業	3 事業	
<p>【関連施策の実施状況】 四国まんなか交流協議会において、観音寺市、四国中央市、三好市の 3 市が連携して以下の取り組みを実施した。 関係人口創出事業：令和 4 年度に 3 県に所在する大学の学生が企画立案を行ったバスツアーを令和 5 年度に実施した。四国中央地域の観光スポット等を大学生が周遊し、地域間の交流や魅力発信を行った。 結婚支援事業：10 回目となる四国まんなか de 愛イベントを開催し、1 対 1 でのトーク・BBQ・クイズゲーム等により参加者の交流を図った。(男女 8 名ずつ 16 名参加、3 組のカップル成立。) 研修事業：3 市の職員を対象に、人口減少問題や地域活性化について考える講義及びワークショップを実施する研修を開催し、意識啓発や交流を図った。</p>				
<p>【今後の取組について】 様々な手法で 3 市の連携や四国中央地域の活性化を図るため、各市の負担金で実施できる効果的な事業内容・事業数を検討する必要がある。今年度も 3 市が連携した研修事業を開催するほか、関係人口創出事業として、宝塚北 SA において 3 市の特産品等を PR する合同フェアを開催し、関係人口交流人口の拡大に努める。協議会のインスタグラムについても、3 市が協力して継続的な情報発信を行うなど、情報発信の取り組みを継続する。</p>				

(2) 地域コミュニティの活性化					
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)	KPI の進捗評価	
地域サロン活動を実施している自治会の割合(実施自治会/全自治会)		3%(8自治会/263自治会)	70%	E	
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
3% (8/263)	3% (9/263)	3% (9/260)	12% (31/258)		
<p>【関連施策の実施状況】</p> <p>自治会活動の均衡ある発展と活動の充実や住民自治の発展等を図ることを目的として、自治会活動補助金を交付している。各自治会の活動は、令和5年度も行事を縮小しながら再開している。</p> <p>また、高齢者を中心とした三世代交流を通じて地域住民が自由に参加し、コミュニティ活性化につながる地域サロン活動を支援する事業では、令和5年度の実施団体は、少し増加し31件であった。</p> <p>市民団体等活動促進事業では、ボランティア団体やNPO法人などの市民活動団体等が行う地域の課題を解決するための自主的な活動等を支援している。令和5年度は申請のあった2団体に補助金を交付し、市民活動団体を主体としたまちづくりの推進と地域の活性化につなげている。</p> <p>地域おこし協力隊事業では、令和5年度は市内の2団体とともに地域おこし協力隊が活動し、山間地域やJR豊浜駅を拠点とする周辺地域の活性化を図った。令和6年1月末に任期を終了した隊員は、市内で起業し定住している。活動3年目となる隊員は、受入団体とともに、最終年に向けた活動を行っている。</p>					
<p>【今後の取組について】</p> <p>自治会活動については、自治会員1世帯あたり1,700円の補助金があることを引き続き周知し、支援を継続する。</p> <p>地域サロン活動については、少しずつ地域サロン活動の件数が増えてきたため、今後も活動を支援する。</p> <p>市民団体の活動については、新規の市民団体の発足が少ないため、市民活動団体の活動を幅広く市民に周知し、活動内容を理解してもらい、誰でも参加できる体制や利用しやすい環境づくりを推進する。</p> <p>地域おこし協力隊事業については、任期終了した隊員が活動していた地域で、これからどのような影響があるか、今後の活性化の広がり等について、検証していく必要がある。また、隊員と受入団体、隊員同士、隊員と市民などの交流を積極的に実施し、市広報紙やフェイスブック等において隊員の活動を紹介する。さらに、地域が必要としている、地域に密着した活動ができるよう、柔軟な活動支援や意見交換が必要である。今後は、令和6年度に任期終了を迎える隊員の起業について支援する。</p>					

(3) 住民の住みやすさ向上			
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (平成30年度)	目標値 (令和6年度)	KPI の進捗評価
のりあいバス利用者数	215人/日	255人/日	C

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
154人/日	151人/日	159人/日	166人/日	
重要業績評価指標（KPI）		基準値 （平成30年度）	目標値 （令和6年度）	KPIの進捗評価
空き家バンクの利用（成約）件数		13件	30件	A
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
19件	17件	20件	31件	
<p>【関連施策の実施状況】</p> <p>のりあいバス運行事業では、交通空白地域・不便地域の住民の外出機会の促進や、市民の福祉の増進のため、市内5路線（伊吹線を除く）を運行した。運行経路においては、一部区間を除いて自由乗降を採用しているほか、位置表示システムの実証実験を行い、専用サイトにてバスの現在位置を掲載するなど、利便性向上の取り組みを行った。</p> <p>空き家対策については、老朽化して倒壊のおそれがある空家等について除却を促進し、地域の住環境の向上を図るため、老朽危険空き家の除却を行う人に一部助成を行った。また、管理不全な空き家については、所有者等へ適切な管理・活用について働きかけるとともに、広報紙やHPなどを活用した周知を行った。</p> <p>空き家バンク制度については、空き家と売買・賃貸希望者をマッチングし、市民の定住や空き家の活用・流動化を図ることができた。また、空き家バンクの利用を促進するために、空き家リフォーム補助金も実施し、リフォームや不要物撤去に一部補助を行うことで、物件登録・成約を後押しした。（リフォーム11件、不要物撤去14件。）さらに、物件の成約促進のために設けている「空き家バンク事業者登録」の制度も、再度、不動産事業者に対して周知を行い、40件の新規登録があったほか、空き家バンクHPを改修し、利便性の向上に努めた。</p>				
<p>【今後の取組について】</p> <p>のりあいバスについては、市民の交通手段としての利便性を確保しながら、広域的な視点で市民ニーズに対応した効率的な運用となるよう、適宜運行計画の見直しを実施する。また、既存ののりあいバスの運行に替えて、利用者の予約により運行するのりあいタクシーの実証実験を一部地域で進めるなど、公共交通の維持確保や利用者の利便性向上に努める。</p> <p>空き家対策については、管理不全となっている空き家の所有者等への継続的な働きかけや広報啓発活動を行う。従来からの市内老朽危険空き家の除却費用の一部に対する補助金交付に加え、周辺住民に影響を及ぼす空き家所有者等に対する、適正管理の働きかけを強化するほか、空き家を放置するリスクや空き家の管理等について広報紙への特集記事の掲載を行うなど、危険空き家の発生防止や除却につながる総合的な取り組みを行う。</p> <p>空き家バンク制度は、引き続き、市内不動産業者とも協力しながら空き家バンクへの登録を促し、空き家の流動化を推進する。また、市内不動産業者に空き家バンク制度を広く知ってもらい周知協力いただくとともに、空き家バンク事業者登録により情報提供可能な体制を構築することで、空き家の解消を進める。さらに、空き家の所有者や利用希望者に向けても、広報、市HP、固定資産税納税通知書に同封するチラシなどで、空き家バンクやリフォーム補助制度のPRを継続することで、新規物件登録数や成約件数の増加を図る。</p>				

(4) 情報提供と広聴広報活動の強化				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H31. 4. 1)	目標値 (R7. 3. 31)	KPI の進捗評価
フェイスブックのフォロワー数		2,831 人	3,330 人	A
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
3,090 人	3,176 人	3,295 人	3,348 人	
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H31. 4. 1)	目標値 (R7. 3. 31)	KPI の進捗評価
ツイッターのフォロワー数		3,280 人	6,000 人	A
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
4,464 人	5,226 件	5,895 人	6,198 人	
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価
報道機関への情報提供数		210 件	250 件	A
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
244 件	336 件	329 件	331 件	
【関連施策の実施状況】				
<p>広報紙については、市民の皆さんに読んでいただくため、ほぼ毎月特集記事を制作している。令和 5 年 6 月号は香川県広報コンクール広報紙（市部）部門で最優秀賞、全国広報コンクール広報紙（市部）部門で入選した。</p> <p>市ホームページは、令和 6 年 1 月に約 8 年ぶりのデザイン改修、サーバや CMS のバージョンアップを行った。アクセス数は令和 4 年度 1 日平均 5,027 件から令和 5 年度は 1 日平均 4,372 件に減少した。（ただし、アクセス数を分析する Google Analytics の仕様に変更が生じ、算出方法も変更された。Google Analytics を使用する県内他自治体でもアクセス数の数値が前年と比べ減少している。）</p> <p>プレスリリースは、令和 6 年 1 月より様式を変更し、読みやすい UD 書体を使用することなどを含めた職員向けマニュアルを作成した。</p> <p>シティプロモーション事業では、フェイスブックや X 等の SNS でイベント情報や魅力発信を随時行った。Instagram では市民や観光客に市の魅力を発信してもらうため、参加型の「#かんおんじふおと 2023」キャンペーンを 2 回開催し、観音寺市で撮影された魅力的な写真の投稿を募集した。投稿写真の中から、特に素敵な作品を投稿された 5 名に優秀賞として観音寺市の特産品や市 PR グッズを贈ったほか、投稿写真を市の広報活動に役立てている。（広報紙等への掲載、絵はがきやポスターの作成。）</p>				

【今後の取組について】

広報全般について、記者が高松市に集中し、定例記者懇談会への出席社数は減少している。より取材してもらえよう、報道関係者への情報提供数増加や内容の充実に向けて、各課への呼びかけを行う。

シティプロモーションでは、インスタグラムのフォロワー数が徐々に増えてはいるが、さらに投稿内容を充実させ、関係人口や交流人口の拡大につなげる。現在開催している「#かんおんじふおと」キャンペーンに加え、ショート動画を活用した新たなハッシュタグキャンペーンを開催することにより、投稿頻度の向上や内容の充実を図り、新たなフォロワーの獲得に努める。

○重要業績評価指標（KPI）の評価一覧（令和5年度分 全29件）

A評価・・・14件（令和4年度 9件）

「認定新規就農者数（累計）」、「企業等誘致数（累計）」、「創業セミナーの参加者数」、「地域や学校の活動に学校運営協議会の委員が参加（協働）した回数が、年間2回以上の市内小中学校の割合」、「かがわ女性キラサポ宣言に登録している市内事業所数（累計）」、「道の駅（2か所）の総売上額」、「ふるさと納税の寄附金額」、「市内幼小中学校、高等学校及び大学等との連携事業数（累計）」、「転入者数」、「新規広域連携事業数（累計）」、「空き家バンクの利用（成約）件数」、「フェイスブックのフォロワー数」、「ツイッターのフォロワー数」、「報道機関への情報提供数」

B評価・・・2件（令和4年度 7件）

「がんばれ観音寺応援隊の隊員数（累計）」、「転出者数」

C評価・・・6件（令和4年度 7件）

「製造品出荷額等」、「市内小学校の地域学校協働本部設置率」、「出生者数」、「外国人の人口」、「婚姻届受理件数」、「のりあいバス利用者数」、

D評価・・・1件（令和4年度 1件）

「中小企業経営改善資金利子補給実施件数と金額」

E評価・・・4件（令和4年度 3件）

「合同企業説明会における就業者数（採用）」、「森林整備面積（累計）」、「サテライトオフィス誘致事業所数（累計）」、「地域サロン活動を実施している自治会の割合（実施自治会/全自治会）」

評価なし・・・2件（令和4年度 2件）

「観音寺市に対する愛着度（高校生）」、「合計特殊出生率」